

令和 7年度 シラバス

授業科目	関係法規・制度	単位／時間	11 h			
開講学科等	美容総合学科	担当教員	宮上知史			
授業の目的・テーマ	1年に引き続き、美容業に関する関係法規・制度について正しい知識習得の必要性を理解させるとともに公衆衛生を担う社会的義務、職業倫理についても自覚を促す。美容師に関する規制内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が美容業を行う場合の指針になることを理解させる。					
授業の到達目標	①法とは何かを理解する。②衛生行政の仕組みを理解する。③美容師、美容所に関する法規制を理解する。④美容業に関する法規について理解する。					
授業 の 計 画	1	4月 11日 1h	1年時学習項目の復習確認	26	月 日 h	
	2	4月 25日 1h	業の振興に関連する法律	27	月 日 h	
	3	5月 9日 2h	衛生に関連する法律①②	28	月 日 h	
	4	5月 16日 1h	雇用に関連する法律	29	月 日 h	
	5	5月 16日 1h	消費者保護に関連する法律	30	月 日 h	
	6	5月 23日 1h	美容師法の構成	31	月 日 h	
	7	6月 6日 1h	美容師法の歴史	32	月 日 h	
	8	6月 13日 1h	国家試験対策問題演習	33	月 日 h	
	9	6月 20日 1h	期末試験	34	月 日 h	
	10	6月 27日 1h	期末試験解答解説	35	月 日 h	
	11	月 日 h		36	月 日 h	
	12	月 日 h		37	月 日 h	
	13	月 日 h		38	月 日 h	
	14	月 日 h		39	月 日 h	
	15	月 日 h		40	月 日 h	
	16	月 日 h		41	月 日 h	
	17	月 日 h		42	月 日 h	
	18	月 日 h		43	月 日 h	
	19	月 日 h		44	月 日 h	
	20	月 日 h		45	月 日 h	
	21	月 日 h		46	月 日 h	
	22	月 日 h		47	月 日 h	
	23	月 日 h		48	月 日 h	
	24	月 日 h		49	月 日 h	
	25	月 日 h		50	月 日 h	
授業の方法	テキストを中心に適宜プリントを利用して講義する					
テキスト/参考文献	公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・制度					
評価の方法や基準	期末試験100%					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項						

令和 7年度 シラバス

授業科目	衛生管理	単位/時間	44				
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	中村光良				
授業の目的・テーマ	公衆衛生発展の歩み免疫学の確立などの衛生歴史を知ることにより知識を深めやすく近代衛生への繋がりを学ぶ。						
授業の到達目標	公衆衛生の歴史、環境衛生、母子保健、医療制度等の理解。						
授業 の 計 画	1	4月 15日 2h	人と感染症	24	月	日	h
	2	4月 22日 2h	感染症の分類①	25	月	日	h
	3	5月 13日 2h	感染症の分類②	26	月	日	h
	4	5月 20日 2h	感染症の分類③	27	月	日	h
	5	5月 27日 2h	病原微生物①	28	月	日	h
	6	6月 3日 2h	病原微生物②	29	月	日	h
	7	6月 17日 2h	感染症の予防	30	月	日	h
	8	6月 24日 2h	理容・美容と感染症	31	月	日	h
	9	7月 1日 2h	主な感染症①	32	月	日	h
	10	7月 8日 2h	主な感染症②	33	月	日	h
	11	7月 15日 2h	主な感染症③	34	月	日	h
	12	10月 7日 2h	消毒法とは	35	月	日	h
	13	10月 14日 2h	感染経路テスト	36	月	日	h
	14	10月 21日 2h	消毒の意義	37	月	日	h
	15	10月 28日 2h	消毒法の意義	38	月	日	h
	16	11月 4日 2h	感染症分類テスト	39	月	日	h
	17	11月 11日 2h	確認テスト	40	月	日	h
	18	11月 18日 2h	理容・美容の業務と消毒との関係	41	月	日	h
	19	11月 25日 2h	消毒法と適用上の注意	42	月	日	h
	20	12月 2日 2h	理学的消毒法	43	月	日	h
		12月 5日 1h	化学的消毒法	44	月	日	h
	21	12月 9日 2h	すぐれた消毒法とその実施上の注意	45	月	日	h
		12月 12日 1h	理容所・美容所の消毒の実際	46	月	日	h
22	月 日 h		47	月	日	h	
23	月 日 h		48	月	日	h	
授業の方法	講義						
テキスト/参考文献	教科書、ワークブック、過去問題						
評価の方法や基準	提出物、試験成績、授業態度などによって総合的に評価する。						
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							○
実務経験	美容師としての実務経験、日本理容美容教育センター教員研修（衛生管理）受講						
実務経験の活かし方	サロンワークで必要な衛生管理と担当科目の教員研修による国家試験対応						
履修上の注意事項	出席率90%・ノートの提出						

令和 7 年度 シラバス

授業科目	保健	単位／時間	44 h							
開講学科等	美容総合学科 2年	担当教員	濱田 孝映							
授業の目的・テーマ	皮膚、毛髪の仕事について詳細に学ぶ。第1篇、第2編を復習し再確認をする。									
授業の到達目標	皮膚、毛髪の仕事について学び、保護と予防を考える事ができる。国家試験過去問を確実に理解し解答解説が出来る。									
授業の計画	1	4/15	2h	皮膚と付属器官の保健	26					h
	2	4/22	2h	皮膚と付属器官の保健	27					h
	3	5/13	2h	皮膚と付属器官の疾患	28					h
	4	5/20	2h	皮膚と付属器官の疾患	29					h
	5	5/27	2h	皮膚と付属器官の疾患	30					h
	6	6/3	2h	皮膚と付属器官の疾患	31					h
	7	6/17	2h	皮膚と付属器官の疾患	32					h
	8	6/24	2h	皮膚と付属器官の疾患	33					h
	9	7/1	2h	第1編復習	34					h
	10	7/8	2h	第1編復習	35					h
	11	7/15	2h	前期試験	36					h
	12	10/7	2h	第1編復習	37					h
	13	####	2h	第2編復習	38					h
	14	####	2h	第2編復習	39					h
	15	####	2h	第2編復習	40					h
	16	11/4	2h	国試対策	41					h
	17	####	2h	国試対策	42					h
	18	####	2h	国試対策	43					h
	19	####	2h	後期試験	44					h
	20	12/2	2h	国試対策	45					h
	21	12/9	2h	国試対策	46					h
	22	####	2h	国試対策	47					h
	23			h	48					h
	24			h	49					h
	25			h	50					h
授業の方法	教科書を中心の座学									
テキスト/参考文献	保健教科書、ワークブック、解剖生理学									
評価の方法や基準	提出物(20)、試験成績(80)により評価									
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○
実務経験	美容師歴13年。養成施設教員歴13年。 保健教員資格認定試験修了。									
実務経験の活かし方	美容師の経験と養成施設の経験を交えて、保健の大切さを伝える。									
履修上の注意事項										

令和7年度 シラバス

授業科目	化粧品化学	単位/時間	22時間	
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	久川 理香	
授業の目的・テーマ	化粧品概論、原料、基礎・メイクアップ・頭皮毛髪用化粧品、芳香製品・特殊化粧品の基礎的・基本的な内容について復習し、国家試験に対応できる学力の育成を図る。			
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品化学を理解し、美容に応用できる。 ・美容師国家試験合格 			
授業の計画	1	6月 12日 1h 界面活性剤復習	25	月 日 h
	2	6月 19日 1h パーマ剤復習	26	月 日 h
	3	6月 26日 1h 5節ヘアカラー製品・6節スキャルブケア製品	27	月 日 h
		7月 3日 1h ヘアカラー製品 (ビューティグランプリ)	28	月 日 h
	4	7月 10日 1h ヘアカラー製品・期末試験 (パーマ剤・ヘアカラー製品)	29	月 日 h
	5	7月 17日 1h まとめ	30	月 日 h
	6	10月 16日 2h 成分一覧表	31	月 日 h
	7	10月 23日 2h 成分一覧表	32	月 日 h
	8	10月 30日 2h 成分一覧表	33	月 日 h
	9	11月 6日 2h 過去問対策 (項目テスト)	34	月 日 h
	10	11月 13日 2h 過去問対策 (第41回～52回)	35	月 日 h
	11	11月 20日 2h 過去問対策 (シャッフル)	36	月 日 h
	12	11月 27日 2h ポイント解説 (第1編)	37	月 日 h
	13	12月 4日 2h ポイント解説 (第2編)	38	月 日 h
	14	月 日 h	39	月 日 h
	15	月 日 h	40	月 日 h
	16	月 日 h	41	月 日 h
	17	月 日 h	42	月 日 h
	18	月 日 h	43	月 日 h
	19	月 日 h	44	月 日 h
	20	月 日 h	45	月 日 h
	21	月 日 h	46	月 日 h
	22	月 日 h	47	月 日 h
	23	月 日 h	48	月 日 h
24	月 日 h	49	月 日 h	
授業の方法	講義・パワーポイント・まとめプリント・小テスト			
テキスト/参考文献	化粧品化学 (日本理容美容教育センター) ・化粧品成分表			
評価の方法や基準	提出物および小テスト (60) ・授業態度 (30) ・出席率 (10)			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				
実務経験				
実務経験の活かし方				
履修上の注意事項	モニターの設定/プリントチェック・保管			

令和 7 年度 シラバス

授業科目	美容実習	単位/時間	562h												
開講学科等	美容総合学科 2年	担当教員	濱田・中村・久川												
授業の目的・テーマ	1年次に学んだ技術を再確認。国家試験（実技）の技術のテクニック、構成の理解。年末には全員決められたタイムに入るようにする。年明けは細かい技術を確実にマスターでき、国家試験（実技）合格を目指す。														
授業の到達目標	国家試験（実技・衛生）3課題を全員が合格できるようにする。														
授業の計画	1	4/11			4h	1年次の復習	26	####	####	####	####		15h	国試課題	
	2	4/14	4/15	4/16	4/18	24h	ワインド・オールウェーブ	27	####	####	####	####		15h	国試課題
	3	4/21	4/22	4/23	4/25	17h	ワインド・オールウェーブ	28	####	####	####			8h	国試課題
	4	4/28	5/2			12h	オールウェーブ	29	12/1	12/2	12/3	12/4		15h	国試課題
	5	5/9				3h	ワインド・オールウェーブ	30	12/8	12/9	####	####		20h	国試課題
	6	5/12	5/13	5/16		12h	カット・オールウェーブ	31	####					3h	国試課題
	7	5/19	5/20			8h	カット・オールウェーブ	32	1/6	1/7	1/8	1/9		27h	国試課題
	8	5/26	5/27			8h	カット・オールウェーブ	33	1/13	1/14	1/15	1/16		28h	国試課題
	9	6/2	6/3			8h	カット・オールウェーブ	34	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	35h	国試課題
	10	6/9				5h	オールウェーブ	35	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	35h	国試課題
	11	6/16	6/17			9h	カット・ワインド・オールウェーブ	36	2/2	2/3	2/4	2/5		28h	国試課題
	12	6/23	6/24			10h	カット・ワインド・オールウェーブ	37						h	
	13	6/30	7/1			10h	ワインド・オールウェーブ	38						h	
	14	7/7	7/8			10h	ワインド・オールウェーブ	39						h	
	15	7/14	7/15	7/16		12h	ワインド・オールウェーブ・期末テス	40						h	
	16	9/3	9/4	9/5		12h	ワインド・オールウェーブ	41						h	
	17	9/8	9/10	9/11	9/12	21h	ワインド・オールウェーブ	42						h	
	18	9/16	9/17	9/18	9/18	22h	ワインド・オールウェーブ	43						h	
	19	9/22	9/24	9/25	9/26	28h	ワインド・オールウェーブ	44						h	
	20	9/29	9/30	10/1	10/2	35h	ワインド・オールウェーブ	45						h	
	21	10/6	10/7	10/9		17h	カット・ワインド・オールウェーブ	46						h	
	22	10/14	10/15	10/16		8h	カット・ワインド・オールウェーブ	47						h	
	23	10/20	10/21	10/22	####	15h	カット・ワインド・オールウェーブ	48						h	
	24	10/27	10/28	10/29	####	15h	カット・ワインド・オールウェーブ	49						h	
	25	11/4	11/5	11/6		8h	カット・ワインド・オールウェーブ	50						h	
授業の方法	教科書をベースに理論、教員がデモを見せ、実習させる。														
テキスト/参考文献	美容実習 1, 2 (教科書) 美容師実技試験課題「技術の解説」														
評価の方法や基準	実習テスト100%														
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する													○		
実務経験	美容師として勤務。日本理容美容教育センター（美容技術理論・美容実習研修済）														
実務経験の活かし方	髪の毛を扱ううえで、コームの持ち方、スライスの仕方、ハサミの持ち方、基本的な姿勢から教えていく。国家試験課題は教員経験で養った技術、テクニックを教えていく。														
履修上の注意事項	教材（ハサミetc）でのケガ、衛生の徹底、カリキュラムに沿った準備の徹底														

令和 7年度 シラバス

授業科目	運営管理	単位/時間	11h			
開講学科等	美容総合学科	担当教員	宮上知史			
授業の目的・テーマ	1年に引き続き、美容所の運営に欠かせない経営戦略、経営管理、労務管理など基本的な理論や事項を学び、健康管理についても考えられるようにする。					
授業の到達目標	経営の基礎を学び経営戦略や経営計画について理解する。会計の歴史、基本構造を学び会計が経営に役立つことを理解する。労務管理に関する法律や制度の概要を理解する。美容業などサービス業の特徴を理解する。					
授業 の 計 画	1	7月 4日 1h	1年時学習項目の復習確認	26	月 日 h	
	2	7月 18日 1h	健康管理の基礎	27	月 日 h	
	3	9月 5日 1h	美容の仕事と健康	28	月 日 h	
	4	9月 12日 1h	美容業に特徴的な健康問題	29	月 日 h	
	5	10月 17日 1h	コンプライアンスについて	30	月 日 h	
	6	10月 24日 1h	サービスデザイン	31	月 日 h	
	7	10月 31日 1h	サービス・マーケティング	32	月 日 h	
	8	11月 7日 1h	マーケティングの最新情報	33	月 日 h	
	9	11月 14日 1h	国家試験対策問題演習	34	月 日 h	
	10	11月 21日 1h	期末試験	35	月 日 h	
	11	11月 28日 1h	期末試験解答解説	36	月 日 h	
	12	月 日 h		37	月 日 h	
	13	月 日 h		38	月 日 h	
	14	月 日 h		39	月 日 h	
	15	月 日 h		40	月 日 h	
	16	月 日 h		41	月 日 h	
	17	月 日 h		42	月 日 h	
	18	月 日 h		43	月 日 h	
	19	月 日 h		44	月 日 h	
	20	月 日 h		45	月 日 h	
	21	月 日 h		46	月 日 h	
	22	月 日 h		47	月 日 h	
	23	月 日 h		48	月 日 h	
	24	月 日 h		49	月 日 h	
	25	月 日 h		50	月 日 h	
授業の方法	テキストを中心に適宜プリントを使い講義する。					
テキスト/参考文献	公益社団法人 日本理容美容教育センター 運営管理					
評価の方法や基準	期末試験100%					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項						

令和 7年度 シラバス

授業科目	文化論	単位/時間	22				
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	山崎 紀代				
授業の目的・テーマ	ファッションの歴史をまとめながら流れを理解する 国試対策授業						
授業の到達目標	美容に不可欠なファッション感覚を身につけ。表現できる						
授業 の 計 画	1	4月 17日 3h	1930年代まとめ	26	月	日	h
	2	4月 24日 3h	1940代まとめ	27	月	日	h
	3	5月 1日 3h	1950代まとめ	28	月	日	h
	4	5月 8日 3h	1960代まとめ	29	月	日	h
	5	5月 15日 3h	1970代まとめ	30	月	日	h
	6	5月 22日 3h	1980代まとめ	31	月	日	h
	7	5月 29日 3h	1990代まとめ	32	月	日	h
	8	6月 5日 1h	2000代まとめ	33	月	日	h
	9	月 日 h		34	月	日	h
	10	月 日 h		35	月	日	h
	11	月 日 h		36	月	日	h
	12	月 日 h		37	月	日	h
	13	月 日 h		38	月	日	h
	14	月 日 h		39	月	日	h
	15	月 日 h		40	月	日	h
	16	月 日 h		41	月	日	h
	17	月 日 h		42	月	日	h
	18	月 日 h		43	月	日	h
	19	月 日 h		44	月	日	h
	20	月 日 h		45	月	日	h
	21	月 日 h		46	月	日	h
	22	月 日 h		47	月	日	h
	23	月 日 h		48	月	日	h
	24	月 日 h		49	月	日	h
	25	月 日 h		50	月	日	h
授業の方法	教科書の基づきそれぞれの時代のイメージボード作り						
テキスト/参考文献	教科書 DVD ネットなどの中からの写真や動画を使用						
評価の方法や基準	レポート提出 授業態度 テスト						
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							○
実務経験	美術教員資格・美容師・花嫁着付け・ブライダル・ファッションショー						
実務経験の活かし方	ファッションの歴史や・通過儀礼に携わりながら日本の文化を教えることができる						
履修上の注意事項	映像や写真、絵画など沢山の資料に目を通す事をさせるようにする						

令和7年度 シラバス

授業科目	ビジネスマナー		単位/時間	33h
開講学科等	美容総合学科 2年		担当教員	西村侑剛
授業の目的・テーマ	就職先で必要とされ輝く人材になる			
授業の到達目標	マナーを身につけサービス力、コミュニケーション力を上げ個人の魅力UPに繋げる			
授業の計画	1	5/12 ② スピーチ	14	11/13 ②スピーチ
		スピーチ 電話対応		コミュニケーション基本
	2	5/19 ② 電話対応 名指し人在籍	15	11/20 ②来客対応 ロールプレイ
		電話対応 名指し人不在		来客対応 ロールプレイ
	3	5/26 ② 電話対応 伝言メモ	16	11/27 ②来客対応 ロールプレイ
		電話対応 道案内		来客対応 クレーム対応
	4	6/2 ② 電話対応 クレーム対応	17	12/4 ②来客対応 クレーム対応
		電話対応 ロールプレイ		来客対応 クレーム対応
	5	6/9 ② 電話対応 ロールプレイ	18	
		電話対応 テスト	19	
	6	6/16 ① 電話対応 テスト	20	
	7	9/4 ② 来客対応	21	
		来客対応	22	
	8	9/11 ② 来客対応	23	
名刺交換		24		
9	9/18 ② 席次	25		
	冠婚葬祭	26		
10	10/16 ②まとめテスト	27		
	コミュニケーション基本	28		
11	10/23 ② コミュニケーション基本	29		
	コミュニケーション基本	30		
12	10/30 ② コミュニケーション基本	31		
	コミュニケーション基本	32		
13	11/6 ②メタ認知	33		
	スピーチ	34		
授業の方法	座学、ロールプレイング			
テキスト/参考文献	実践ビジネスマナー			
評価の方法や基準	身だしなみ25% 授業態度, コミュニケーション50% 試験25%			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○
実務経験	ビジネスマナー講師 企業研修講師 サービス業 コーチング コミュニケーション講師 ナレーター 自営業			
実務経験の活かし方	魅せ方や声の指導、本音を引き出し考えてもらい自発的意思を育む サービス、価値の提供について実体験を伝える			
履修上の注意事項	マナー、コミュニケーションは想像力を使い積極的に取り組む ビジネススーツは指定の期間着用			

令和 7 年度 シラバス

授業科目	ヘッドスパ	単位/時間	68h								
開講学科等	美容総合学科 2年	担当教員	濱田 孝映								
授業の目的・テーマ	美容サロンでのスパニストの需要が増加し、リラクゼーション技術も進歩していることから、外面と内面の美しさを引き出せるヘッドスパ技術と知識を身につける。										
授業の到達目標	ヘッドからデコルテまでのマッサージ技術を身につける。										
授業の計画	1	5/23	4h	A ヘッドスパ理論・マッサージ・バックシャンパー技術実習	26						h
	2	6/6	4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンパー実習 (手順確認)	27						h
	3	6/13	4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンパー実習 (動作確認)	28						h
	4	6/20	4h	//	29						h
	5	6/27	4h	//	30						h
	6	7/4	4h	B ヘッドスパ理論・マッサージ・バックシャンパー技術実習	31						h
	7	7/11	4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンパー実習 (手順確認)	32						h
	8	7/18	4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンパー実習 (動作確認)	33						h
	9	####	4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンパー実習 (手順確認)	34						h
	10	####	4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンパー実習 (動作確認)	35						h
	11	####	4h	//	36						h
	12	11/7	4h	C ヘッドスパ理論・マッサージ・バックシャンパー技術実習	37						h
	13	####	4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンパー実習 (手順確認)	38						h
	14	####	4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンパー実習 (動作確認)	39						h
	15	####	4h	//	40						h
	16	12/5	4h	//	41						h
	17	####	4h	//	42						h
	18			h	43						h
	19			h	44						h
	20			h	45						h
	21			h	46						h
	22			h	47						h
	23			h	48						h
	24			h	49						h
	25			h	50						h
授業の方法	モニター、プリント等を使用し、講義と実習。										
テキスト/参考文献	美容実習 1 美容技術理論 1 TOMOTOMO										
評価の方法や基準	テスト結果100%で評価する										
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○										
実務経験	美容師歴13年。養成施設教員歴13年。 美容技術理論・実習教員資格認定試験修了。										
実務経験の活かし方	サロンでの実際を交えながらマッサージ技術の理解度を深める										
履修上の注意事項	持参物：美容実習 1 配布プリント 筆記用具 ヘアケア用品										

令和7年度 シラバス

授業科目	アイラッシュ	単位/時間	34h				
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	光富 千尋				
授業の目的・テーマ	アイラッシュの知識を正しく理解し、安全な施術ができるようにする						
授業の到達目標	アイラッシュの基礎知識、安全な施術ができるよう技術の習得を目指します！						
授業の計画	1	4月 30日 3h	(学科)まつ毛エクステの歴史、商材学等テキストでの学科	26	月	日	h
	2	5月 7日 3h	(学科)ワゴンセッティング(マネキン)テープワークについて、プレオフレケアについて	27	月	日	h
	3	5月 14日 3h	(マネキン) ツイサーワークつけまつ毛で練習、(相モデル) テープワーク・プレオフレケア、ツイ	28	月	日	h
	4	5月 21日 3h	(相モデル)基礎練習	29	月	日	h
	5	5月 28日 3h	(相モデル)基礎練習	30	月	日	h
	6	6月 4日 3h	(相モデル)基礎練習	31	月	日	h
	7	6月 11日 3h	(相モデル)浮き絡み向きを意識して装着する	32	月	日	h
	8	6月 18日 3h	(相モデル)タイムを意識して装着する	33	月	日	h
	9	6月 25日 3h	(相モデル) 1時間タイムトライアル	34	月	日	h
	10	7月 2日 3h	(相モデル) ミックス装着20秒/1本	35	月	日	h
	11	7月 9日 3h	確認テスト(実技)	36	月	日	h
	12	7月 16日 1h	確認テスト(学科)	37	月	日	h
	13	月 日 h		38	月	日	h
	14	月 日 h		39	月	日	h
	15	月 日 h		40	月	日	h
	16	月 日 h		41	月	日	h
	17	月 日 h		42	月	日	h
	18	月 日 h		43	月	日	h
	19	月 日 h		44	月	日	h
	20	月 日 h		45	月	日	h
	21	月 日 h		46	月	日	h
	22	月 日 h		47	月	日	h
	23	月 日 h		48	月	日	h
	24	月 日 h		49	月	日	h
	25	月 日 h		50	月	日	h
授業の方法	テキストでの基礎知識、マネキン・相モデルで技術の習得						
テキスト/参考文献							
評価の方法や基準							
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							○
実務経験	14年						
実務経験の活かし方	美容サロン経営。美容専門学校・高等学校にて非常勤講師としてアイラッシュ・アイブロウの授業を担当。美容室・個人向けの技術導入の指導。独立開業支援。						
履修上の注意事項	(準備物) はさみ、ごみ袋、エタノール、ポンプ、ベビー綿棒、精製水、コットン、フェイスタオル						

令和 7年度 シラバス

授業科目	メイクアドバンス2年	単位/時間	78			
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	山崎 紀代			
授業の目的・テーマ	ショー・コンテストに参加しながら想像力つける デザインの基礎からのメイクアップの表現					
授業の到達目標	TPOにあわせてイメージメイクアップができる コンテストやショーで結果を残す					
授業 の 計 画	1	5月 29日 4h	時代メイク1920年	18	月 日 h	
	2	6月 11日 4h	時代メイク1920年	19	月 日 h	
		6月 12日 4h	時代メイク1960年	20	月 日 h	
	3	6月 18日 4h	時代メイク1960年	21	月 日 h	
		6月 19日 4h	時代メイク1980年	22	月 日 h	
	4	6月 25日 4h	時代メイク1980年	23	月 日 h	
		6月 26日 4h	コンテスト対応	24	月 日 h	
	5	7月 2日 4h	コンテスト対応	25	月 日 h	
		7月 3日 4h	写真撮影	26	月 日 h	
	6	7月 9日 4h	コンテスト対応	27	月 日 h	
		7月 10日 4h	写真撮影	28	月 日 h	
	7	7月 16日 4h	コンテスト対応	29	月 日 h	
		7月 17日 4h	ショー対策	30	月 日 h	
	8	9月 2日 7h	ショー対策	31	月 日 h	
		9月 3日 4h	ショー対策	32	月 日 h	
	9	9月 9日 7h	ショー対策	33	月 日 h	
		9月 10日 4h	ショー対策	34	月 日 h	
10	9月 17日 4h	ショー対策	35	月 日 h		
11	月 日 h		36	月 日 h		
12	月 日 h		37	月 日 h		
13	月 日 h		38	月 日 h		
14	月 日 h		39	月 日 h		
15	月 日 h		40	月 日 h		
16	月 日 h		41	月 日 h		
17	月 日 h		42	月 日 h		
授業の方法	相モデル コンテスト・ショーなどの作品づくり。					
テキスト/参考文献	メイクブック					
評価の方法や基準	実技テスト 授業態度 作品作りの取り組み					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する ○						
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動 ショー・雑誌撮影など					
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストの仕事を理解してもらう					
履修上の注意事項	メイクアップのみでなく衣装やアクセサリなど用意し、全体のイメージを作る					

令和 7 年度 シラバス

授業科目	メイクアドバンス 2年	単位/時間	27h							
開講学科等	美容総合学科 2年	担当教員	中村 光良							
授業の目的・テーマ	コンテストに参加しながら想像力つける デザインの基礎からのメイクアップの表現									
授業の到達目標	自分で考えデザインしたヘアメイクを創作する。									
授業の計画	1	10/8	7h	課題の作品作り	26					h
	2	11/12	4h	課題の作品作り	27					h
	3	11/19	4h	課題の作品作り	28					h
	4	11/26	4h	課題の作品作り	29					h
	5	12/3	4h	課題の作品作り	30					h
	6	12/10	4h	課題の作品作り	31					h
	7			h	32					h
	8			h	33					h
	9			h	34					h
	10			h	35					h
	11			h	36					h
	12			h	37					h
	13			h	38					h
	14			h	39					h
	15			h	40					h
	16			h	41					h
	17			h	42					h
	18			h	43					h
	19			h	44					h
	20			h	45					h
	21			h	46					h
	22			h	47					h
	23			h	48					h
	24			h	49					h
	25			h	50					h
授業の方法	相モデル コンテスト・ショーなどの作品づくり。									
テキスト/参考文献	メイクブック									
評価の方法や基準	実技テスト 授業態度 作品作りの取り組み									
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○
実務経験	美容師として勤務。日本理容美容教育センター（美容技術理論）									
実務経験の活かし方	基礎技術から応用技術に対応できるスキルを学ばず。									
履修上の注意事項										

令和7年度 シラバス

授業科目	美容総合技術ビューティ&ブライダルコース (フェイシャルエステ)	単位/時間	28時間	
開講学科等	美容総合学科2年ビューティ・ブライダルコース	担当教員	久川 理香	
授業の目的・テーマ	ハンド・エステ機器を使用したフェイシャルエステティック技術とホスピタリティーを習得する			
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルクレンジング・マッサージの目的を理解しハンドテクニックが出来る。 ・エステ機器をスムーズに扱う事が出来る。 ・お客様に対してのホスピタリティーを身に付ける 			
授業 の 計 画	1	4月 17日 4h 授業オリエンテーション。準備・片付け	26	月 日 h
	2	4月 24日 4h ポイントメイク落とし・拭き取り (コットン)	27	月 日 h
	3	5月 1日 4h マッサージ (軽擦法・つなぎ軽擦)	28	月 日 h
	4	5月 8日 4h マッサージ (強擦法・揉捻法)	29	月 日 h
	5	5月 15日 4h マッサージ (打法・振動法・圧迫法・ツボ・軽擦法)	30	月 日 h
	6	5月 22日 4h テスト/ハンドリラクゼーション	31	月 日 h
	7	6月 5日 4h 大丸イベント	32	月 日 h
	8	月 日 h	33	月 日 h
	9	月 日 h	34	月 日 h
	10	月 日 h	35	月 日 h
	11	月 日 h	36	月 日 h
	12	月 日 h	37	月 日 h
	13	月 日 h	38	月 日 h
	14	月 日 h	39	月 日 h
	15	月 日 h	40	月 日 h
	16	月 日 h	41	月 日 h
	17	月 日 h	42	月 日 h
	18	月 日 h	43	月 日 h
	19	月 日 h	44	月 日 h
	20	月 日 h	45	月 日 h
	21	月 日 h	46	月 日 h
	22	月 日 h	47	月 日 h
	23	月 日 h	48	月 日 h
	24	月 日 h	49	月 日 h
	25	月 日 h	50	月 日 h
授業の方法	実習 (相モデル)			
テキスト/参考文献	日本エステティック協会 新エステティック学技術編 I			
評価の方法や基準	実技チェック100			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○	
実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ・トータルビューティ科エステ実技教員 ・滝川エステティック学院卒 ・認定エステティシャン資格 			
実務経験の活かし方				
履修上の注意事項	身だしなみ (爪・髪) チェック・片付けのチェック			

令和 7年度 シラバス

授業科目	美容総合 着付け	単位/時間	16h		
開講学科等	美容総合学科ビューティブライダルコース2年	担当教員	斧山 睦		
授業の目的・テーマ	1年次の確認と的確な着付けが出来る。				
授業の到達目標	留袖着付けが時間内に出来る				
授業 の 計 画	1	4月 23日 4h	留袖着付け・二重太鼓 確認	26	月 日 h
	2	4月 30日 4h	留袖着付け・二重太鼓	27	月 日 h
	3	5月 7日 4h	留袖着付け・二重太鼓	28	月 日 h
	4	5月 14日 4h	時間を決めて着付け	29	月 日 h
	5	月 日 4h		30	月 日 h
	6	月 日 4h		31	月 日 h
	7	月 日 4h		32	月 日 h
	8	月 日 h		33	月 日 h
	9	月 日 h		34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	着付け用ボディを使って留袖着付けをする				
テキスト/参考文献	技術理論の教科書				
評価の方法や基準	出席状況、授業態度などによって総合的に評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	美容科、総合美容学科、TB科及び美容所、出張会場にて実務あり				
実務経験の活かし方	晴れの日のお手伝い出来る責任のある仕事である事を伝える。				
履修上の注意事項	持参品を伝える。				

令和 7年度 シラバス

授業科目	総合技術 プライダルコース	単位/時間	28		
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	山崎 紀代		
授業の目的・テーマ	美容師としてアップスタイルの基本とアレンジ、伝統的日本のスタイル日本髪など追求し知識・テクニックを学ぶ。				
授業の到達目標	顔立ちに合わせてのヘアスタイルを可能にし、美しい所作も身につける				
授業 の 計 画	1	5月 21日 h	アップスタイルの基本	26	月 日 h
	2	5月 28日 h	アップスタイルの基本	27	月 日 h
	3	6月 4日 h	アップスタイルテスト	28	月 日 h
	4	10月 15日 h	日本髪	29	月 日 h
	5	10月 22日 h	日本髪	30	月 日 h
	6	10月 29日 h	ヘアアレンジテスト	31	月 日 h
	7	11月 5日 h	日本髪テスト	32	月 日 h
	8	月 日 h		33	月 日 h
	9	月 日 h		34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	実技 モデルウィッグを使って完成させる				
テキスト/参考文献					
評価の方法や基準	授業態度、実技テスト、理論テスト				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動				
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動				
履修上の注意事項	道具を管理し衛生面に気をつけるためアルコール消毒を用意する				

令和7年度 シラバス

授業科目	総合技術ネイルアドバンス		単位/時間	177 h		
開講学科等	美容総合学科 2年生ネイルコース		担当教員	矢野 愛/久川理香		
授業の目的・テーマ	ネイリスト技能検定とジェルネイル技能検定の上位検定合格を目指したカリキュラムとサロンワークで必要となるマシーンテクニック及び最新のネイルアートを学ぶ。					
授業の到達目標	ネイリスト技能検定2級・1級の技術と理論の習得 ジェルネイル技能検定中級・上級の技術と理論の習得 サロンワークで生かせるマシーンテクニックとジェルアート					
授業の計画	1	4月 17日 4h	ミックスチュア・ボールの作り方	14	7月 16日 4h	スカルプチュア・チップオーバーレイ・2級
		4月 23日 4h	道具チェック1級要項読み合わせ		7月 17日 4h	スカルプチュア・チップオーバーレイ・2級
	2	4月 24日 4h	ハンドの使い方フォーム付け方・アプリケーション	15	9月 2日 7h	検定対策AM/ショー対策
		4月 30日 4h	ハンドの使い方フォーム付け方・アプリケーション復習		9月 3日 4h	3Dアート
	3	5月 1日 4h	中級カラーテーション・フレンチ・オフ	16	9月 9日 7h	検定対策AM/ショー対策
		5月 7日 4h	1級アプリケーション		9月 10日 4h	1級通し (2級)
	4	5月 8日 4h	1級スカルプチュアY	17	9月 17日 4h	マシーン
		5月 14日 4h	1級スカルプチュア (復習)		18	10月 8日 4h
	5	5月 15日 4h	中級ジェルスカルプ	19	10月 15日 4h	1級通し (2級通し)
		5月 21日 4h	1級スカルプチュア (復習)		20	10月 22日 4h
	6	5月 22日 4h	1級スカルプチュアY	21	10月 29日 4h	上級ジェルスカルプ
		5月 28日 4h	1級スカルプチュア (復習)		22	11月 5日 4h
	7	5月 29日 4h	1級チップオーバーレイ	23	11月 12日 4h	上級フレンチ・フラワーアート
		6月 4日 4h	大丸イベント		24	11月 19日 4h
	8	6月 5日 4h	中級通し	25	11月 26日 4h	上級通し
		6月 11日 4h	中級通し (復習)		26	12月 3日 4h
	9	6月 12日 4h	中級通し	27	12月 10日 4h	上級通し
		6月 18日 4h	1級スカルプチュア (復習)		28	月 日 h
	10	6月 19日 4h	中級通し	29	月 日 h	
		6月 25日 4h	1級スカルプチュア (復習)		30	月 日 h
11	6月 26日 4h	中級通し	31	月 日 h		
	7月 2日 4h	1級チップオーバーレイ (復習)		32	月 日 h 1級チップオーバーレイ (復習)	
12	7月 3日 4h	中級通し	33	月 日 h		
	7月 9日 4h	スカルプチュア・チップオーバーレイ・2級		34	月 日 h	
13	7月 10日 4h	1級チップオーバーレイ (復習)	35	月 日 h		

授業の方法	実習・講義
テキスト/参考文献	JNAテクニカルシステムベーシック・JNAテクニカルシステムアドバイス JNAテクニカルシステムジェルネイル・ネイルキット
評価の方法や基準	授業態度・出席率・技能試験
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	
実務経験	ネイルサロン経営・JNA本部認定講師
実務経験の活かし方	本部認定講師はネイリスト技能検定試験・ジェルネイル試験の試験官を行う事ができ、検定の重要なポイントや苦手項目に対する指導する事で合格率のアップを図る。また、サロン経営の経験を於いてジェルデザインアート力を付けさせる事が出来る
履修上の注意事項	相モデルにての実習形式・マナー (髪の毛は結ぶ) ・爪はモデルができる長さ

令和 7 年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 ヘアデザイン	単位/時間	53h							
開講学科等	美容総合学科 2年スタイリストコース	担当教員	中村 光良							
授業の目的・テーマ	カット・ヘアカラー技術の仕上げとして自分の作品作りをする。									
授業の到達目標	自分でデザインしたスタイルを作る。									
授業の計画	1	9/2 4/2	11h	課題の作品作り	26					h
	2	9/9 9/10	11h	課題の作品作り	27					h
	3	9/17	4h	課題の作品作り	28					h
	4	10/8	7h	課題の作品作り	29					h
	5	11/12	4h	課題の作品作り	30					h
	6	11/19	4h	課題の作品作り	31					h
	7	11/26	4h	課題の作品作り	32					h
	8	12/3	4h	課題の作品作り	33					h
	9	12/10	4h	課題の作品作り	34					h
	10		h		35					h
	11		h		36					h
	12		h		37					h
	13		h		38					h
	14		h		39					h
	15		h		40					h
	16		h		41					h
	17		h		42					h
	18		h		43					h
	19		h		44					h
	20		h		45					h
	21		h		46					h
	22		h		47					h
	23		h		48					h
	24		h		49					h
	25		h		50					h
授業の方法	作品写真やSNSなどを使用し、イメージしたものを具現化させる。									
テキスト/参考文献	過去のコンテストやショー作品等									
評価の方法や基準	授業態度・作品の仕上がりの総合評価100%									
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○
実務経験	美容師として勤務。日本理容美容教育センター（美容技術理論）									
実務経験の活かし方	基礎技術から応用技術に対応できるスキルを学ばす。									
履修上の注意事項										

令和 7 年度 シラバス

授業科目	美容総合カット	単位／時間	12					
開講学科等	美容総合学科 スタイリストコース 2年	担当教員	久川・中村・濱田					
授業の目的・テーマ	グラデーションボブカット							
授業の到達目標	グラデーションボブの切り方の理解、規定時間内に切れる力をつける。							
授業 の 計 画	1	4月17日	4h	グラデーションボブのプロッキング	月	日	h	
				左右対称に切る	月	日	h	
				ガイドラインの作り方、つなげ方	月	日	h	
				ネーブセクションの切り方	月	日	h	
	2	4月24日	4h	ミドルセクションの切り方	月	日	h	
				トップセクションの切り方	月	日	h	
				サイドの切り方	月	日	h	
				バンクの切り方	月	日	h	
	3	5月1日	4h	クロスチェック	月	日	h	
				復習	月	日	h	
				全体を通してスピードアップ	月	日	h	
				仕上げ	月	日	h	
						月	日	h
						月	日	h
						月	日	h
						月	日	h
						月	日	h
					月	日	h	
					月	日	h	
					月	日	h	
					月	日	h	
					月	日	h	
					月	日	h	
授業の方法	講師による展示→項目ごとに生徒に実践してもらう→間に入って指導→（繰り返し）→タイムに入るようにカット							
テキスト/参考文献	グラデーションボブの切り方、規定について記載された資料または教科書							
評価の方法や基準	指導した内容に沿って着実に取り組んでいるか、規定時間内でのスタイル完成に近づけているか							
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							○	
実務経験	美容室で美容業務全般に従事							
実務経験の活かし方	普段の業務でのノウハウを交えながらの指導							
履修上の注意事項	カット用具一式、タイマー、怪我をしないように注意							

令和 7年度 シラバス

授業科目	美容総合カット	単位／時間	36				
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	大川倫史				
授業の目的・テーマ	B1グランプリ対策、デザインの構成						
授業の到達目標	B1グランプリ受賞						
授業 の 計 画	1	5月 8日 3h	ヘアデザインの考え方	26	月	日	h
	2	5月 15日 3h	ヘアデザインの考え方	27	月	日	h
	3	5月 22日 3h	ヘアデザインの考え方	28	月	日	h
	4	5月 29日 3h	ヘアデザインの作り方	29	月	日	h
	5	6月 5日 3h	ヘアデザインの作り方	30	月	日	h
	6	6月 12日 3h	ヘアデザインの作り方	31	月	日	h
	7	6月 19日 3h	ヘアデザインの作り方	32	月	日	h
	8	6月 26日 3h	ヘアデザインの作り方	33	月	日	h
	9	7月 3日 3h	まとめ	34	月	日	h
	10	月 日 h		35	月	日	h
	11	月 日 h		36	月	日	h
	12	月 日 h		37	月	日	h
	13	月 日 h		38	月	日	h
	14	月 日 h		39	月	日	h
	15	月 日 h		40	月	日	h
	16	月 日 h		41	月	日	h
	17	月 日 h		42	月	日	h
	18	月 日 h		43	月	日	h
	19	月 日 h		44	月	日	h
	20	月 日 h		45	月	日	h
	21	月 日 h		46	月	日	h
	22	月 日 h		47	月	日	h
	23	月 日 h		48	月	日	h
	24	月 日 h		49	月	日	h
	25	月 日 h		50	月	日	h
授業の方法	ヘアデザインの考え方、実技						
テキスト/参考文献	なし						
評価の方法や基準	授業態度						
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							
実務経験	美容師						
実務経験の活かし方	デザイン、カット						
履修上の注意事項							

令和 7年度 シラバス

授業科目	美容総合技術（ヘアデザイン）	単位／時間	32時間
開講学科等	美容総合学科 スタイリストコース2年	担当教員	岡 宏美
授業の目的・テーマ	一人一人が一つのウィッグを通して自分らしいデザイン作りを行い、フォトコンテストに挑戦する。		
授業の到達目標	デザインを自分で考え、表現を形にする事を学ぶ。伝える表現力を知る。		
授業 の 計 画	1	6月 11日 4h ブリーチ（練習）	26 月 日 h
	2	6月 18日 4h カラー（練習）	27 月 日 h
	3	6月 25日 4h カット	28 月 日 h
	4	7月 2日 4h カラー	29 月 日 h
	5	7月 9日 4h カラー	30 月 日 h
	6	7月 10日 4h カット・メイク	31 月 日 h
	7	7月 16日 4h 仕込み・スタイリング	32 月 日 h
	8	7月 17日 4h 撮影	33 月 日 h
	9	月 日 h	34 月 日 h
	10	月 日 h	35 月 日 h
	11	月 日 h	36 月 日 h
	12	月 日 h	37 月 日 h
	13	月 日 h	38 月 日 h
	14	月 日 h	39 月 日 h
	15	月 日 h	40 月 日 h
	16	月 日 h	41 月 日 h
	17	月 日 h	42 月 日 h
	18	月 日 h	43 月 日 h
	19	月 日 h	44 月 日 h
	20	月 日 h	45 月 日 h
	21	月 日 h	46 月 日 h
	22	月 日 h	47 月 日 h
	23	月 日 h	48 月 日 h
	24	月 日 h	49 月 日 h
	25	月 日 h	50 月 日 h
授業の方法	ウィッグを使ってカラーカット、スタイリングを行う		
テキスト/参考文献	美容業界雑誌、SNS、コンテスト資料、色彩本		
評価の方法や基準	授業態度、完成度		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○
実務経験	ストとして株式会社トーリに勤務。現在はクリエイティブディレクターとして		
実務経験の活かし方	生徒一人一人の表現力を引き出すアドバイス、テクニックの指導		
履修上の注意事項	持参物・カット道具一式・カールアイロン・ストレートアイロン・ドライヤー・メイク道具・スマホ		

令和 7年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 ヘアカラー	単位/時間	16時間	
開講学科等	美容総合学科 (スタイリストコース) 2年	担当教員	前田誠一	
授業の目的・テーマ	サロンワークに活かせるヘアカラー基礎技術			
授業の到達目標	ヘアカラー応用テクニックの習得			
授業 の 計 画	1	4月 23日 4h ホイルワークテクニック (トクリ)	26	月 日 h
	2	4月 30日 4h ゼロテクカラー塗布	27	月 日 h
	3	5月 7日 4h グレイカラー塗布 (トクリ)	28	月 日 h
	4	5月 14日 4h グレイカラー塗布 (ブリーチ→グレイ)	29	月 日 h
	5	月 日 h	30	月 日 h
	6	月 日 h	31	月 日 h
	7	月 日 h	32	月 日 h
	8	月 日 h	33	月 日 h
	9	月 日 h	34	月 日 h
	10	月 日 h	35	月 日 h
	11	月 日 h	36	月 日 h
	12	月 日 h	37	月 日 h
	13	月 日 h	38	月 日 h
	14	月 日 h	39	月 日 h
	15	月 日 h	40	月 日 h
	16	月 日 h	41	月 日 h
	17	月 日 h	42	月 日 h
	18	月 日 h	43	月 日 h
	19	月 日 h	44	月 日 h
	20	月 日 h	45	月 日 h
	21	月 日 h	46	月 日 h
	22	月 日 h	47	月 日 h
	23	月 日 h	48	月 日 h
	24	月 日 h	49	月 日 h
	25	月 日 h	50	月 日 h
授業の方法	実技・実習			
テキスト/参考文献				
評価の方法や基準	意欲・自発力・理解力・授業態度の総合点			
験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記 ○				
実務経験	ヘアカラーリスト・ヘアカラー専門店起業			
実務経験の活かし方	基礎テクニック・心得を丁寧に分かりやすく伝え、自発力が高まる実践教育			
履修上の注意事項				

令和 7年度 シラバス

授業科目	総合技術 スタイリストコース	単位/時間	28		
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	山崎 紀代		
授業の目的・テーマ	美容師としてアップスタイルの基本とアレンジ、伝統的日本のスタイル日本髪など追求し知識・テクニックを学ぶ。				
授業の到達目標	顔立ちに合わせてのヘアスタイルを可能にし、美しい所作も身につける				
授業 の 計 画	1	5月 21日 h	アップスタイルの基本	26	月 日 h
	2	5月 28日 h	アップスタイルの基本	27	月 日 h
	3	6月 4日 h	アップスタイルテスト	28	月 日 h
	4	10月 15日 h	日本髪	29	月 日 h
	5	10月 22日 h	日本髪	30	月 日 h
	6	10月 29日 h	ヘアアレンジテスト	31	月 日 h
	7	11月 5日 h	日本髪テスト	32	月 日 h
	8	月 日 h		33	月 日 h
	9	月 日 h		34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	実技 モデルウィッグを使って完成させる				
テキスト/参考文献					
評価の方法や基準	授業態度、実技テスト、理論テスト				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○	
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動				
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動				
履修上の注意事項	道具を管理し衛生面に気をつけるためアルコール消毒を用意する				